

10月28日 安曇野市立穂高南小学校 穂高東中学校

## 「中信地区 図書館教育研究大会(安曇野支部)を終えて」

安曇野支部代表 安曇野市立穂高北小学校 唐澤 信好

### 1 大会テーマ

「学びと心のより所となる学校図書館

～学校内外の連携による読書・学習・情報センター機能の構築を目指して～」

### 2 公開授業・授業研究会

会場校	授業学級・授業者	教科・単元名	指導者
穂高南 小学校	4年3組 宮尾 菜々美 教諭	国語 「本のポップや帯を作ろう」	中信教育事務所 指導主事 小沢 正太郎 先生
穂高東 中学校	全校参加 生徒会担当・図書委員会	読書の集い 「東中×ミニ・ビブリオバトル」	中信教育事務所 主任指導主事 鷲澤 貴夫 先生

### 3 講演会（オンライン開催）

講師 宮澤 優子 先生（三重県伊勢市教育委員会 社会教育課勤務 長野県下條村出身）

演題 「学びと心のより所となる学校図書館

～学校内外の連携による読書・学習・情報センター機能の構築を目指して～」

4 参加人数 小学校20名 中学校23名  
オンライン講演会のみ参加4名 計47名

### 5 まとめ

【穂高南小学校】 国語の単元名「本のポップを作ろう」では、自分の選んだ本の面白さを、ポップをつくって姉妹学級の2年生に伝える活動を行った。中央図書館の司書の方にポップの作り方（ポイント等）を聞いて、自分自身の言葉や相手に分かりやすい表現で工夫をしながら、ポップづくりを行っていた。司書の方のアドバイスをもとに、選んだ本の面白さをポップにどう表現すればいいかを、楽しみながら活動をしている姿が印象的だった。

【穂高東中学校】 生徒会主催の「ミニビブリオバトル」を行った。全校生徒代表6名のバトラーが、自分の気に入った本の魅力を自分の言葉で友だちに向かって発表をしていった。聞き手はバトラーがなぜその本と出会ったのか、どこにその魅力を感じたのか等を、バトラーに質問をし、それについて応えるディスカッションの時間が設けられていた。この活動を通して、本の魅力に触れ、作品の良さを自分の言葉で表現することの面白さや喜びを全校生徒全員が共感し合う素晴らしい機会となっていた。

【講演会】 宮澤先生の講演では、上記の演題についてお話をいただいた。参加者からは、「GIGA スクール時代に即した学校図書館のあり方について、読書センター、学習センター、情報センターの3つの切り口から具体的にお話しいただき大変参考になりました。このような学びを私たち自身が続けて行かないと、これからの時代を生きる子ども達の資質・能力を育むことは決してできないし、学びの多様化に対応していくことはできないとまた強く感じました。」等の感想を多くの方からいただき、明日からの指針・活力になったようだった

